

# 中販連

# だより

2023  
Vol.67

指定生乳生産者団体 中国生乳販売農業協同組合連合会 機関誌



## CONTENTS

- 年頭挨拶
- 中国地区牛乳・乳製品料理コンクール
- 令和4年度第3回生乳受託販売委員会の開催報告について
- 令和4年度生乳出荷実績等
- 事業経過報告

## 新年のご挨拶

### 新年を迎えるにあたって

中国生乳販売農業協同組合連合会 会長 長恒泰治



新年明けましておめでとうございます。

生産者の皆様、取引先乳業者並びに関係団体の皆様におかれましては、ご家族お揃いで新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は当連合会の事業推進につきまして、多大なご理解とご協力を賜り衷心より厚くお礼申し上げます。

さて、昨年の社会情勢を振り返りますと、長らくコロナ禍での行動制限により国内経済の停滞が続いておりましたが、約2年ぶりの10月11日から外国人の入国規制（水際対策）が緩和され、少しずつインバウンド需要回復への期待が持てる状況に変わって参りました。

しかしながら昨年2月末に起きたロシア軍によるウクライナへの侵攻によってエネルギー資源や穀物並びに肥料等を巡る世界を巻き込んだ流通の混乱が起り、様々な物価の高騰が起り現在もその影響は続いております。日本国内では、日銀による金融緩和政策が続き、インフレ抑制のために利上げを続けるアメリカとの間で為替相場は一時150円を超える急激な円安水準となり、輸入資材は高騰の一途でありました。

酪農経営環境においても同様で、為替相場は昨年末に130円前後の円高になりましたが、飼料・肥料・資材・燃料等の高止まりは続いており、一部の輸入乾牧草も100円/kgを超える水準で流通するなど今まで経験したことのない状況となっています。

令和4年度当初は、生乳需給の緩和が解消されないことから、一旦は乳価据え置きの判断が行われましたが、急激に悪化する酪農経営の状況は耐え難いものになることが想定され、都道府県の指定団体では、5月から一斉に期中値上げ交渉に踏み切り、飲用等向け生乳に対して15円/kgの値上げ要求を行いました。大手乳業を中心に交渉を行いましたが、製品価格への転嫁交渉にも約3ヶ月を要するとのことで結果的に11月1日からの10円/kg値上げが決定したところです。

しかしながら、交渉妥結後においても飼料高騰は続き、子牛等の副産物価格も急落、乳価値上げ分も経営好転の足しにはならないような状態で、会員組合による独自支援や国・県・市町村による公的支援を受けながら何とか経営を継続している状況にあります。生産コスト削減のため自給飼料を増産する必要もありますが、急な自給飼料増産に舵取りができるものでもなく、今後の課題であります。地域々々でのコントラ組織の拡充や耕畜連携を一層強化し生産コスト削減への取り組みも続けて行かねばなりません。

また、令和5年度における乳業者との生乳取引交渉に向けては、昨年末（12月末）時点で11月からの値上げによって消費への影響がどのようになるか見極める必要もあり、現時点では具体的な交渉に入れておりません。令和4年度当初から需給改善への取り組みが必要ということで都府県では

4,300頭の低能力牛の淘汰を決定し、1頭あたり5万円以内の奨励措置の為に0.04円/kgの拠出をお願いいたしました。また11月以降の値上げの影響により最大で10%の消費減が予測されていた事から追加的に7,100頭の低能力牛の淘汰に取り組むこととなり11月分の乳代金から約0.33円/kgの追加拠出もお願いしたところです。値上げ後に控えている年末年始の需給緩和をどう乗り切るか、一昨年に引き続いて処理不可能乳の発生が危惧されていた事もあり乳業サイドには最大限の生乳の受け入れを依頼しなければならず、すぐさま再値上げ交渉に取り組める状況ではありませんでした。値上げ後2カ月ほどが経過いたしましたが、幸いにも、インテージ社が提供するスーパー・コンビニを通った牛乳・乳飲料等の消費動向は値上げ前の10月で前年比98.5%前後、11月以降は前年比97.5%前後と約1%程度の減少に留まり予測された程の消費減は起こらず、値上げへの理解が一定程度得られたのではないかと感じております。また、心配された年末年始の生乳需給も概ね混乱もなく乗り切れそうな見通しとなっています。

コロナ発生直後から積み上がった過剰乳製品(脱脂粉乳)への対処についても生処による拠出金と国からの支援により製品35,000トンの削減に取り組んでいます。まだまだ削減されたとは言い難い状況ではありますが、都府県の低能力牛の淘汰(合計11,400頭)に加え、北海道における令和4年度11月から3月までの生乳生産量5万トン削減、更には令和5年度の9万トンの削減計画に加え、令和4年度第2次補正予算で実施が決まった「酪農経営改善緊急支援事業」(令和5年3

月～令和6年3月までの間で40,000頭の乳牛(タイヤ事業)による入口対策によって生乳需給改善を続ける事となります。指定団体経由の生乳の抑制だけを図っても系統外生乳が増えたのでは意味がありませんので、公平感をもった対応となるよう引続いて国への要望を続けて参ります。生産者の皆様には、指定団体制度への理解を一層深めて頂けますと幸いです。

酪農乳業界で最も重要なことは、酪農産業が将来に向けて衰退しないよう、更なる消費拡大・酪農理解醸成活動を通じて、消費者理解を地道に続けていく事です。学校給食用牛乳の高校・大学への供給実現による需要拡大等の活動とも併せて取り組んで参りたいと思います。

現状では本当に厳しい!の一言に尽きますが、生産者の皆様は過去の低迷期を幾度となく克服してきました。抜け出せないトンネルはなく、更には少しでも早く抜け出すために指定団体並びに組合組織、関係団体一丸となって力を集中しなければなりません。

当連合会においても脱脂粉乳の在庫削減に係る0.45円/kgの拠出金負担を少しでも緩和すべく内部留保の取り崩しによって0.10円/kgの奨励措置を行わせていただきました。本年も引き続き役職員一丸となって酪農経営の改善に向けて知恵を出し、汗をかいていく所存であります。

最後になりましたが、生産者の皆様並びに会員組合役職員の皆様におかれましては、本年も引き続き事業運営へのご理解とご協力をお願い申し上げるとともに、皆様方のさらなるご発展・ご健勝を祈念し年頭のご挨拶とさせていただきます。

## 新年のご挨拶

### 新年を迎えるにあたって

中国四国農政局生産部畜産課課長 井 上 善 行



明けましておめでとうございます。

令和5年という新しい年を迎えるにあたり、一言、御挨拶を申し上げます。

皆様におかれましては、平素から酪農乳業行政の推進に御理解と御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は、我が国の酪農にとって大変厳しい年となりました。これまで取り組んできた生産基盤強化対策を通じて、生乳生産量が回復基調となってきた中、新型コロナの感染拡大による需要の減少に加え、ロシアによるウクライナ侵略や円安の進行等を起因として、我が国の社会経済は多大な影響を受け、酪農においても、飼料穀物の国際相場の上昇等のほか、燃料、肥料など各種生産資材の高騰など、生産コストが上昇し、経営収支が悪化するといった大変厳しい経営環境にあると認識しております。

こうした中、農林水産省としては、予備費や補正予算を活用し、配合飼料価格安定制度における異常補填金への積み増しや、配合飼料価格の高止まりに対応するための緊急対策、購入粗飼料等の価格高騰の影響を受ける酪農経営への

緊急対策など飼料価格高騰対策を切れ目無く実施してまいりました。

また、生乳の需給ギャップを改善するため、令和4年度第2次補正予算において、経産牛の早期リタイアによる抑制的な生産の取組を支援する「酪農経営改善緊急支援事業」や乳製品在庫を長期保管する取組に対する「乳製品長期保管特別対策事業」を措置するとともに、国産チーズの競争力強化対策や輸出拡大、自給飼料活用に向けた支援策を措置したところです。

あわせて、畜産物価格関連対策として、酪農における生産コストの上昇を価格への反映や経営体質強化によって克服していくための環境整備として、新たに「酪農緊急パワーアップ事業」を措置したところであり、是非とも、各種支援策を活用していただければと思っております。

皆様におかれましては、昨年にも増して、酪農乳業行政への格別の御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様方の一層の御健勝と御活躍を祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

## 新年のご挨拶

### 新年を迎えるにあたって

一般社団法人 中央酪農会議 会長 中 家 徹



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

酪農家並びに関係の役職員の皆様におかれましては、日頃より、本会議事業への格別のご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。また、昨年発生した豪雨や大雪等により被害を受けられた方々には心よりお見舞い申し上げます。新しい年を迎えるにあたり、最近の酪農をめぐる情勢を踏まえ、所信の一端を述べさせていただきます。

酪農経営を巡る環境は、飼料及び燃料をはじめとしたあらゆる資材価格が高騰する一方で副産物収入となる子牛価格が暴落する経営の危機に加え、過去最高水準の乳製品在庫を抱えるなど生乳需給の緩和が重なる複合危機といえる状況にあります。これらの現状を放置すれば、離農・廃業により国内酪農生産基盤の壊滅的な毀損は避けられない上に、将来の牛乳乳製品の安定供給に大きな支障をもたらし、わが国の食料安全保障上も重大な懸念に繋がりかねません。

このため、緊急的な支援として、継続的な飼料高騰対策や金融支援で経営を支えつつ、生乳の需給改善を進めるとともに、さらに出回り量が低下している脱脂粉乳の需要拡大を図り、生産コストを適切に価格転嫁できる環境を整備することが急務の課題となっています。

本会におきましては、国によって措置された

各種補助事業等も活用しつつ、生産抑制等の入り口対策の他、乳製品在庫削減に係る出口対策等に取り組むこととしております。また、酪農家の経営危機について幅広い国民に理解を求めるとともに、飲用需要を維持・拡大させるため、昨年11月の飲用牛乳等の小売価格の値上げを踏まえ、「スゴいぞ！牛乳」というスローガンを設定し、牛乳は国産100%・栄養豊富・健康に役立つ等、ただの飲み物ではないことを伝えていく取組を開始しております。

さらに、可能な限り外的要因に左右されにくい酪農経営に移行するための対策として国内産飼料の生産・利用拡大のほか、現行の畜安法下における需給対応の不公平感是正に向けた検証も重要と考えております。

令和5年度におきましても、本会役職員一同、指定団体及び会員組織の皆様と連携し、今後も酪農家の皆様が、引き続き「誇り」、「やりがい」、「夢」を持てる酪農産業を確立して行けるよう努めてまいります。

本年も酪農家及び酪農関係者の皆様方のご支援、ご理解の程、宜しくお願い申し上げるとともに、新しい年が皆様にとりましてより良い年となりますよう祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。

# 令和4年度 中国地区牛乳・乳製品料理コンクール<第12回>

令和4年度中国地区牛乳・乳製品料理コンクールを11月19日(土)に開催しました。同料理コンクールは牛乳・乳製品の知識普及と消費拡大を目的として平成23年度より毎年実施しており今回が12回目となります。今年は中国5県より1,240点の応募があり、各県で開催された牛乳・乳製品料理コンクールを勝ち抜いた鳥取県、島根県、岡山県、広島県各代表2名、山口県代表1名(1名欠席)計9名の代表が考案したレシピと調理の腕を競いました。上位入賞者は次の方です。

最優秀賞	中国四国農政局長賞	原 涼歩 広島県 おいしくSDGs!クリーム巻き巻き～広島牡蠣to彩りカレー～
優秀賞	中国生乳販連会長賞	伊藤 悅子 島根県 カルシウムたっぷり焼おにぎり
		福田 真子 岡山県 カルボナーラ風濃厚雲ドリア



表彰式後の記念写真：出場者9名



おいしくSDGs!  
クリーム巻き巻き～広島牡蠣to彩りカレー～

## 【工夫した点】

- \*クリームドリアをもっと手軽に食べたいと思い、春巻きの皮で包んでみました。
- \*カリ・トロッとしたユニークな食感が楽しめます。
- \*地産地消から地元「広島牡蠣」を使用し、米粉を使用することで米の需給率アップを目指します。



## 材料4人分

牛乳 ..... 200ml  
バター ..... 20g  
春巻きの皮 ..... 8枚  
米粉 ..... 大さじ1と小さじ1  
サラダ菜 ..... 8枚  
揚げ油

### 【A: 広島牡蠣ドリア】

牡蠣のしぐれ煮 ..... 8個  
ごはん ..... 100g  
エリンギ ..... 50g  
舞茸 ..... 50g  
カボチャ ..... 50g  
しぐれ煮の煮汁 ..... 大さじ1

### 【B: 彩りカレードリア】

ごはん ..... 100g  
オクラ ..... 4本  
人参 ..... 30g  
カレーパウダー ..... 小さじ2  
スライスチーズ ..... 4枚

## 作り方

①ホワイトソースを作ります。フライパンに米粉と牛乳を入れ泡立て器でよく混ぜてから弱火で加熱しとろみがでたら火を止め、2等分に分けておきます。

### 【A: 広島牡蠣ドリア】

- ①舞茸は8等分・エリンギは1cm角に切る。
- ②カボチャは1cm角に切った後、レンジで2分間加熱する。
- ③フライパンにバターを入れ①を混ぜる。
- ④ホワイトソースに牡蠣のしぐれ煮の煮汁を混ぜ、ごはんと②③を混ぜる。
- ⑤春巻きの皮に④と牡蠣のしぐれ煮をのせ巻く。

### 【B: 彩りカレードリア】

- ①オクラはヘタを取り、人参は薄くスライスする。耐熱ボウルに入れレンジで2分間加熱する。
  - ②ホワイトソースにカレーパウダーを混ぜ、ごはんを加える。
  - ③春巻きの皮に②のせ揚げスライスチーズをおく。オクラを人参で包んで中央において皮で巻く。
- 【A】・【B】を180°Cの油で揚げ、斜めに切り盛付けて終了。



### 3) 11月からの系統外生乳の取り扱いについて

広島県内で乳業者である砂谷(株)と直接取引を行っていた砂谷酪農組合の生産者5名が広島県酪農協への加入に係る協議の末、10月から組合員となることが決定し乳価改定のタイミングとなる11月1日より生乳の出荷を行うこととなりました。当連合会会員である広島県酪農協への生乳出荷となりますので当連合会の取り扱いともなります。乳量は日量約5t程度の増加となります。増加分は元々直接取引を行っていた砂谷(株)へ当連合会を経由して販売することとしております。新しく加入された生産者の経費等の取り扱いに際しましては従来からの組合員の皆様と同様の対応といたします。

#### ○協議事項について

##### 1) 11月からの学校給食用牛乳向け(以下、「学乳向け」という)生乳取引について

11月から飲用等向け(飲用+醸酵乳)の取引乳価について10円/kgの値上げとなった事から、学乳向けについても価格改定を行うため各県行政並びに供給乳業者に対して値上げの要請を行って参りました。しかしながら、学校への年間供給価格は年度前に行われる入札により決定していることから期中の値上げに関しては保護者負担を伴うものとなり原料乳価格の値上げに伴う保護者負担増加へのアプローチは非常に難しく、事前に市町村教育委員会の理解が必要になるなど対応が難しい状況にありました。

会員並びに乳業者と共に各県行政へ粘り強く要請を行った結果、島根県を除く4県で国から交付されたコロナ地方創生臨時交付金を財源とする供給本数(200ml)×2円(税込み)の補助を3月まで受けられることとなりました。各県行政の対応の違いや供給本数の差によって県毎に生産者の皆さんへの支払い時期や単価等に差が生じる事となります。ご理解の程よろしくお願ひいたします<島根県は畜産対策として別途支援を実施>。

令和5年度からの学乳取引につきましては、原料乳価格として10円/kgを値上げしますのでプール乳価に反映されます。

##### 2) 11月以降の生乳需給対策について

11月からの乳価値上げに伴う消費の減退予測によって年末年始を始めとする処理不可能乳の発生が昨年度以上に危惧されており、発生回避のため都府県で追加的に取り組む事が決定した低能力牛の早期淘汰(7,100頭)の実施内容等について説明し、年内前倒し実施を依頼すると共に(下表1、中販連管内の追加割当頭数614頭)、販売努力を最大限行っても年末年始に生乳の行き場がない場合には最悪の事態への対処として産廃処理し、処理費用は乳代から対応することを決定しました。また、都府県全体で行う追加淘汰への奨励金財源として11月から3月までの間、新たに飲用等向け生乳0.35円/kgの拠出負担が行なわれる事となりました。その他、当連合会が計画している小売価格値上げへの消費者理解の為の新聞広告の実施や社会貢献の一環として取り組むLL牛乳の無償配布事業や消費拡大活動等について了承されました。

表1 低能力牛の早期淘汰に係る中国管内への追加割当頭数について

	R3年度 受託実績 シェア率	割当て頭数		
		当初	追加	合計
大 山	60,695 20.5%	84	126	210
J Aしまね	76,216 25.8%	105	158	263
お か 酪	97,838 33.1%	135	204	339
広 酪	46,906 15.9%	66	97	163
山 酪	8,901 3.0%	12	19	31
防 酪	5,001 1.7%	7	10	17
合 計	295,557 100.0%	409	614	1,023

図1 乳価値上げに伴う酪農理解の醸成を目的とした新聞広告



### 3) 令和5年度生乳取引交渉について

飼料高と副産物価格の下落により大幅な乳価再値上げが必要な状況にある事は十分に承知しているところですが、生乳需給を巡る状況においては、本年11月以降の牛乳乳製品小売価格の値上げを受けた消費動向の見極めが必要であること、年末年始を中心とした処理不可能乳発生回避に向けた対応を酪農業界で優先せざるを得ない事、その上で令和5年度生乳受託販売契約の推進を図り、その全量販売に向けた数量取引交渉を行う必要がある事、更には過剰乳製品在庫への対応（入口対策としての生産抑制状況）等々を踏まえた場合、令和5年4月からの乳価再値上げについては現時点で大手乳業側と交渉環境を整える事が難しい旨を説明しました。

まずは、年明け早々に生産者への指定団体制度への理解と周知を図り系統外生乳の流通が拡大しないよう令和5年度生乳受託販売契約の推進を行い、契約数量の全量販売に向けて取引先乳業者との数量交渉を確実に行った上で再値上げへ向けた交渉に着手する旨説明し了解されました。





